

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (5) 福島県酪農業の生産基盤維持への支援（復興ローンによる補助残融資）

農林中央金庫福島支店（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	福島県の酪農業については、生産者の高齢化に加え、東日本大震災および原発事故の影響を受け、沿岸地域を中心に酪農生産者の避難休業や離農を余儀なくされており、生産基盤の維持対策が大きな課題となっています。
2 概要	<p>福島県酪農協同組合(以下・当組合)は、畜産クラスター事業を活用した生産者への施設リース事業を開始。農林中央金庫はこの補助残部分への融資を実行しました。</p> <p>当組合は、畜産クラスター事業を活用し、酪農関連施設を導入のうえ、生産拡大意欲のある組合員2名にリースを行いました。当事業を利用した組合員は酪農および堆肥の生産販売を営む生産者であり、原発事故に伴う風評被害により滞っていた堆肥の生産・販売を再開するため、堆肥の生産施設を利用することとしました。また、他の利用者では酪農および稲作栽培を行う生産者であり、風評被害の大きい稲作から酪農への生産シフトのため、牛舎等の酪農生産施設をリースすることとしました。</p>
3 成果 (効果)	当事業により、生産者は単独では投資負担の大きい施設をリース形式で利用できることとなり、効率化の促進に寄与。生乳生産の維持・拡大につながっています。
4 今後の予定 (課題)	引き続き当組合と連携しながら、酪農業の生産基盤の維持・拡充に繋がる取組を行うこととしております。

【本事業のスキーム】

